

世界で話題の「リコード法」発案者 デール・ブレデセン博士監修
プロポリス×5つの天然由来素材でシナジー効果を発揮

「ノンアルツ Bee」

2019年12月19日（木）世界最速発売

株式会社山田養蜂場（所在地：岡山県苫田郡鏡野町、代表：山田英生、以下「山田養蜂場」）は、リコード法 発案者であるデール・ブレデセン博士監修のもと、プロポリスと5つの天然由来素材を配合した新商品「ノンアルツ Bee」を2019年12月19日（木）、世界に先駆けて新発売いたします。

これは、日本で入手困難なコーヒーベリー、ポリフェノールの一種であるクルクミン、インドでも古くから健康に役立てられているツボクサ、細胞膜を構成する主成分であるホスファチジルセリン、人気素材のイチョウ葉に、ブラジル産バツカリス由来プロポリスをかけあわせたものです。

当社の自社研究施設「みつばち健康科学研究所」では、10年以上、プロポリスの有用性の研究を進めておりますが、このたびプロポリスが、これら5つの天然由来素材の抗酸化力などを引き上げるシナジー効果をもつことが明らかになり、特許出願をいたしました。「ノンアルツ Bee」は、その独自配合による商品です。

なお、サプリメント先進国であるアメリカでは、当社グループ会社のヘルスケアカンパニーLifeSeasons 社より、来年発売予定です。

山田養蜂場は、予防医学の観点からミツバチ産品を活用した健康法である「アピセラビー」を追究することで、お客様一人ひとりの健康寿命を延伸し、社会に貢献してまいります。



プロポリス コーヒーベリー クルクミン



ツボクサ ホスファチジルセリン イチョウ葉

■リコード法とは

これまでに500名以上のアルツハイマー型認知症患者に実践され、効果が認められている画期的な治療法。アルツハイマー型認知症の原因は単一的ではなく、複数の要因によるものであると解明し、個人の症状にあわせて対策を取ることができる“オーダーメイド型の認知症治療プログラム”として、世界中で注目を浴びている。従来の「アミロイドβを除去する」という考え方ではなく、「アミロイドβが産生される複数の原因を対策する」というアプローチのもと、その原因に応じた専用のプログラムを実践することができる。

■デール・ブレデセン博士とは

アルツハイマー病などの神経変性疾患を専門とする医学博士／カリフォルニア大学 神経学部 名誉教授。著書『アルツハイマー病 真実と終焉』を2018年に出版し、米amazonランキング1位、New York Times 誌、Wall Street Journal 誌でベストセラーを記録。世界29カ国で翻訳出版されるなど、いま最も注目を浴びている認知症研究の権威。

【メディアお問い合わせ先】

(株)山田養蜂場 戦略広報室 山下 (ny1972@yamada-bee.com)、山口 (ry1943@yamada-bee.com)
TEL : 03-5410-3838 FAX : 03-5410-3839

【商品概要】

商品名	ノンアルツ Bee	
発売日	2019年12月19日(木)	
内容量	90球 ビン入	90球 袋入
価格	8,000円(税抜)	7,900円(税抜)
販売チャネル	通信販売 (https://www.3838.com) 山田養蜂場直営店(全国16店舗)	
原材料名	ツボクサ抽出物、ホスファチジルセリン(大豆を含む)、イチョウ葉抽出物、コーヒー果実抽出物、プロポリスエキス、マルトデキストリン/ウコン、HPMC、ビタミンC パルミテート、微粒二酸化ケイ素、アルギニン	
栄養成分表示	1日摂取目安量 3球当たり エネルギー6kcal、タンパク質0.09g、脂質0.2g、炭水化物0.9g、食塩相当量0.012g	
お召し上がり方	1日3球を目安に、飲み物と一緒に召し上がりください。	
注意	直射日光や高温多湿を避け、涼しい所で保存してください。	
お客様の お問い合わせ先	フリーダイヤル 0120-383-830 (8:00~21:00) https://www.3838.com	

【素材解説】

プロポリス

ミツバチが巣の衛生状態を保つために植物の樹脂や樹液、新芽などを集め、自らが分泌する唾液やミツロウを混合して作る粘着性の物質。特に、ブラジル産バッカリス由来プロポリスはアルテピリンCなどの桂皮酸誘導体を主成分としており、健康に関する研究が世界中で進められている。

コーヒーベリー

赤い果肉に覆われたコーヒーの実。一般に飲用されるコーヒーは、この実の中にある種(生豆)のみを焙煎したコーヒー豆から抽出される。

クルクミン

ウコンに含まれるポリフェノールの一種で、多様な機能が期待される注目の素材。

ツボクサ

別名、ゴツコラ。インドでは古くから健康のために活用されている植物。WHO(世界保健機関)が、保護すべき有用性のある植物であると発表。

ホスファチジルセリン

細胞膜を構成する主な成分で、脳や神経組織をはじめ、皮膚や血管など人体に多く存在する。食品では、主に大豆に含まれる。

イチョウ葉

近年、国内外でサプリメント素材として人気を集めているハーブ。